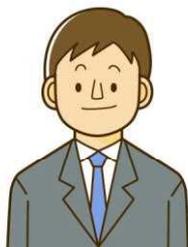


# 「特別の教科 道徳」の実施に向けて

## <その5>

「特別の教科 道徳」（道徳科）の完全実施に向けた改正のポイントです。前号<その4>に引き続き、中学校の内容項目について変更点等を確認します。



続いて、中学校の内容項目を見ていきましょう。

中学校では、内容項目数が22となりました（従前は24）。以下の統合や分割があります。

### 中学校の内容項目

中学校（22）	
<b>A 主として自分自身に関すること</b>	
自主, 自律, 自由と責任	(1) 自律の精神を重んじ, 自主的に考え, <u>判断し</u> , 誠実に実行してその結果に責任をもつこと。
節度, 節制	(2) 望ましい生活習慣を身に付け, 心身の健康の増進を図り, 節度を守り節制に心掛け, <u>安全で調和のある生活</u> をすること。
向上心, 個性の伸長	(3) 自己を見つめ, 自己の向上を図るとともに, 個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。
希望と勇氣, 克己と強い意志	(4) より高い目標を設定し, その達成を目指し, 希望と勇氣をもち, <u>困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる</u> こと。
真理の探究, 創造	(5) 真実を大切に, 真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。
<b>B 主として人との関わりに関すること</b>	
思いやり, 感謝	(6) 思いやりの心をもって人と接するとともに, 家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し, 進んでそれに応え, 人間愛の精神を深めること。
礼儀	(7) 礼儀の意義を理解し, 時と場に応じた適切な言動をとること。
友情, 信頼	(8) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, <u>悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていく</u> こと。
相互理解, 寛容	(9) <u>自分の考えや意見を相手に伝える</u> とともに, それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなものの見方や考え方があることを理解し, 寛容の心をもって謙虚に他に学び, 自らを高めていくこと。

B-（6）は、「思いやり、感謝」について、より体系的・系統的に指導できるよう、従前の2-（2）と2-（6）を統合したものです。

※ 2-（2）…「人間愛、思いやり」に関する内容  
2-（6）…「感謝」に関する内容

B-（8）は、「友情、信頼」について、より体系的・系統的に指導できるよう、従前の2-（3）と2-（4）を統合したものです。

※ 2-（3）…「友情、信頼」に関する内容  
2-（4）…「異性についての正しい理解、人格の尊重」に関する内容

C 主として集団や社会との関わりに関すること	
遵法精神, 公德心	(10) 法やきまりの意義を理解し, それらを <u>進んで守るとともに, そのよりよい在り方について考え, 自他の権利を大切に, 義務を果たして, 規律ある安定した社会の実現に努めること。</u>
公正, 公平, 社会正義	(11) 正義と公正さを重んじ, 誰に対しても公平に接し, 差別や偏見のない社会の実現に努めること。
社会参画, 公共の精神	(12) 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め, 公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。
勤労	(13) 勤労の尊さや意義を理解し, <u>将来の生き方について考えを深め, 勤労を通じて社会に貢献すること。</u>
家族愛, 家族生活の充実	(14) 父母, 祖父母を敬愛し, 家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。
よりよい学校生活, 集団生活の充実	(15) 教師や学校の人々を敬愛し, 学級や学校の一員としての自覚をもち, 協力し合ってよりよい校風をつくとともに, 様々な集団の意義や <u>集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。</u>
郷土の伝統と文化の 尊重, 郷土を愛する態度	(16) <u>郷土の伝統と文化を大切に, 社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め, 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し, 進んで郷土の発展に努めること。</u>
我が国の伝統と文化の 尊重, 国を愛する態度	(17) 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに, 日本人としての自覚をもって国を愛し, <u>国家及び社会の形成者として, その発展に努めること。</u>
国際理解, 国際貢献	(18) 世界の中の日本人としての自覚をもち, 他国を尊重し, 国際的視野に立って, 世界の平和と人類の発展に寄与すること。
D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること	
生命の尊さ	(19) 生命の尊さについて, <u>その連続性や有限性なども含めて理解し, かけがえのない生命を尊重すること。</u>
自然愛護	(20) <u>自然の崇高さを知り, 自然環境を大切にすることの意義を理解し, 進んで自然の愛護に努めること。</u>
感動, 畏敬の念	(21) 美しいものや気高いものに感動する心をもち, 人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。
よりよく生きる喜び	(22) 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや <u>気高く生きようとする心があることを理解し, 人間として生きることに喜びを見いだすこと。</u>

※ 下線部分は、新たな文言の追加や変更点です。

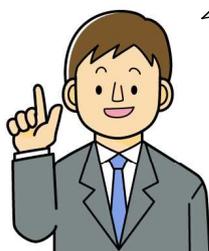
C- (15) は、「よりよい学校生活、集団生活の充実」について、より体系的・系統的に指導できるよう従前の4- (4) と4- (7) を統合したものです。

- ※ 4- (4) …「役割と責任、集団生活の向上」に関する内容
- 4- (7) …「愛校心、よりよい校風の樹立」に関する内容

D- (20) ・ (21) は、「自然愛護」及び「感動、畏敬の念」について、より体系的・系統的に指導できるよう、従前の3- (2) を分割したものです。

- ※ 3- (2) …「自然愛護、畏敬の念」に関する内容

なお、これらの内容項目は、以下のような取扱いの工夫により、指導の効果を高めることができます。



- 幾つかの内容を関連付けて指導するなどして、全ての内容項目が調和的に関わり合うようにする。
- 一時間一時間を単発で行うことなく、それまでの指導を踏まえ年間を通して発展的に指導する。
- 重点的に指導する内容項目については、授業時数を多く取ったり、一つの内容項目を何回かに分けて指導したりする。